

土岐川グリーンベルト通信 第55号

平成 26 年度「笠原の森」笠原中学校による活動報告

今年度、笠原中学校では、1年生の生徒（3クラス95名）が、笠原の森の歴史、森の持つ土砂流出防止のはたらき、樹林整備の必要性などについて学びました。体育館で学習会を1回、「笠原の森」で観察会を1回行いました。

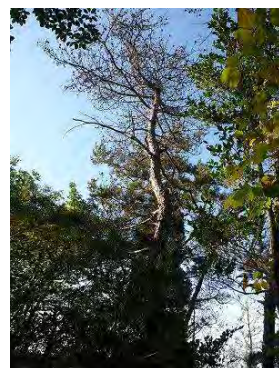
昨年度、グリーンベルトの学習を実施した2年生も、樹林調査と樹林整備を実施する予定でしたが、天候に恵まれず、中止となりました。

○学習会（平成 26 年 11 月 20 日（木））

- ・笠原の森の歴史
- ・グリーンベルトとは
- ・土砂災害と森の働き
- ・砂防ダムの効果（模型実験）
- ・降雨体験

○観察会（平成 26 年 11 月 21 日（金））

- ・森の散策、砂防ダムの見学
- ・土の観察、木の観察



【“笠原の森”の今①】

マツ枯れにより、大きなマツがたくさん枯れています。歩道沿いの枯れたマツは事前に切り倒しました。



【“笠原の森”の今②】秋にはタカノツメなどの葉が黄色く色づき、里山の紅葉を楽しむことができます。

1 年生 学習会(2014.11.20)の様子

講義のほか、砂防ダムの模型実験、降雨体験など体験的な学習をおこないました。

講義



砂防ダムの実験



降雨体験



1 年生 森の観察会(2014.11.21)の様子

“森を知る、森とふれあう”ことを目的に「森の観察会」を実施しました。はじめて森に入る生徒も多くいました。生徒達は、紅葉のなか熱心に課題に取り組み、笠原の森について多くのことを学びました。

森の様子を観察



森の遊歩道を歩きながら森の観察をしました。

砂防ダムの見学



森の中にある砂防ダムを見学しました。

木の観察



木の葉・実・幹などを観察して、植物ハンドブックで木の名前を調べました。

土の観察



スコップで腐植土の厚さを調べました。厚さの平均は 14cm でした。

生徒の感想例(今年度の学習をとらえて)

- ・笠原の森はとてもいいにおいがした。
- ・笠原の森が昔はげ山だったことにおどろいた。
- ・次は家族と来たいと思えるとっても楽しい場所です。
- ・笠原の森を手入れして、安心して遊べるようにしたいし、災害のない森にしたい。
- ・森は二酸化炭素を吸って酸素にかえるだけでなく、自然災害から自分たちを守っている

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
〒507-0023 岐阜県多治見市小田町 4-8-6
TEL : (0572) 25-8020
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>